

役員立候補者等 公示

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	わたなべ よういちろう 渡辺 洋一郎	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1975年 8月13日	年齢	43歳
勤務先名	芽室町議会						
会員番号	37735	市町村	芽室町				
主な活動歴	平成15年～平成21 社会福祉法人札幌山の手リハビリセンター 平成17年 社会福祉士取得 平成22年～平成26 医療法人道北勤労者医療協会 (地域包括支援センター:社会福祉士2年、精神保健福祉士2年) 平成27年～芽室町議会 平成30年～北海道社会福祉士会十勝地区支部監事						
立候補理由・ 抱負	私はこれまで地域包括支援センターをはじめとする福祉現場で働く中で、どうしても現場だけでは解決できない問題に何度か直面してきました。制度や政治そのものを変えていかなければ福祉の現場はよくなれないとの思いが強まっていたときに、立候補要請を受けて現在の芽室町議会議員の職に就きました。この4年間、町の福祉施策の課題解決に向けた取組みについて、チェックし提案してきましたが、制度や運用をひとつ変えるのにも相当な時間がかかり、困難であることを実感している日々です。 私は地域住民の声に寄り添い、思いを届けることを信条としていますが、今後ますます共生社会の実現に向けては、社会福祉士の役割が大きくなっていくと考えます。コミュニティソーシャルワークやソーシャルアクションの強化も社会福祉士のこれからの大きな課題と捉えており、これまでの実践の経験を生かし、北海道社会福祉士会のためにお役に立ちたいと考えております。						
推薦者-①	清野 祥子	会員番号	5437				
推薦理由	■ 内に燃えるような情熱や闘魂を持っていながら、常に謙虚で控えめな渡辺洋一郎さん。バーテンダー、病院のソーシャルワーカー、地域包括支援センターで人間の暮らしと正面から向き合い、現在は芽室町議会の議員として活動されています。 ■ 町内で多くのお宅が台風による浸水被害を受けた際には、一軒一軒訪ね歩いて聞き取りをし課題も含めて冊子にまとめる、地元高校生に登下校時にアンケートを行い若者の社会における関心事を調査する…。いつも自らの足で歩き、人々と直接向き合いながら触れた生活実態や願いを土台に、議員活動を通じたソーシャルワーク実践を、真摯に続けています。学生時代からサポートを続ける車椅子テニス活動は氏のライフワークになっています。 ■ 国では現在、共生社会の推進に向け、地域作りの旗振り役として社会福祉士に大きな期待を寄せています。故に私たちには、コミュニティソーシャルワーク及びソーシャルアクション力の向上が一層求められています。そんな時代だからこそ、地域を地道に歩き、議員活動を通じてソーシャルワーク実践を続ける渡辺洋一郎さんを理事に送り出したいのです						
推薦者-②	川向 優子	会員番号	33724				
推薦理由	2015年4月、仕事を通じて「政治を変えなければ福祉の現場はよくなれない」と感じていた中、立候補の要請を受けて決意して挑んだ「芽室町議会議員選挙」に当選。日々、住民とともに住みやすい町づくりに奮闘し、また、車いすテニス協会の理事・実行委員としても協会や大会の運営に携わっているのが渡辺会員です。 「人」との出会いを大切にしながら(一期一会)、常に前向きに誠実に仕事をしている姿は地元紙やブログでも紹介されている通りですし、広い視点で物事を捉える力や実行力を兼ね備えた渡辺会員であれば、北海道という大きなステージであっても、同じ社会福祉士(仲間)の想いや会の未来を考えながら活動し、貢献できるものと確信しています。						
推薦者-③	中山 晶子	会員番号	54026				
推薦理由	渡辺洋一郎会員を理事に推薦致します。渡辺会員は地域づくり全般を行う実践力があり、町議会議員として活躍されています。町議員以前はソーシャルワーカーとしての基盤もあり実践経験から、地元の課題を捉え、それを具体的な地域づくりとして創出しています。地域課題を捉える目線から、コミュニティソーシャルワーカーとしての課題を捉える目線も幅広く持ち、地域住民の思いを具現化する力を持っています。 また笑顔で誰とでも接し、何事にも真摯に取り組む姿から人望も厚く、今後の社会福祉士として考えて続ける姿勢は道の理事として適任であり、社会福祉士会の一層の発展のためにも、理事候補として推薦致します。						